

平成20年12月17日
午 時 分 受領

平成20年12月17日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

福島町議会議員 1 番 佐 藤 卓 也 ㊟

一 般 質 問 通 告 書

第2回定例会において、次の件について質問したいので、会議規則第60条第2項の規定により通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
景気対策・雇用問題・学業支援について	<p>世の中は不景気です。派遣社員の解雇などテレビ、新聞で流れてきますが、福島町にも仕事を探している人、または仕事がなく故郷に戻ってきている人がいるのをご存知でしょうか。</p> <p>その人たちが安定した生活を送れるようにすることが行政としての仕事だと考えます。経済はスピードが大事です。今後どのような政策を実行されるのかお伺いいたします。</p> <p>また、この度の金融危機において子どもの教育費に影響は出ていないでしょうか。金融危機は長期的かつ深刻になると思われます。子どもを持つ保護者に対しても修学旅行の補助や返済義務のない奨学金を考えてはいかがでしょうか。町長・教育長の所信をお伺いいたします。</p>	町 長 教育長

注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>エコなまちづくりを</p>	<p>福島町のゴミにかかる処理料は、塵芥処理費に 3,000 万円、渡島廃棄物処理広域連合に約 7,000 万円、渡島西部広域事務組合に約 1 億 6,000 万円の予算となっております。</p> <p>それを減らすためにも、これまでどのようなことをされてきたのか、そしてその効果はどうか。</p> <p>環境を切り口としたまちおこしはできると思います。アイデアとして、例えば、商店街の活性化を絡めたエコ・ステーションの検討や公共施設の省エネルギー対策の検討、バイオマスタウンの検討などはどうでしょうか。町長の考えをお伺いいたします。</p>	<p>町長</p>
<p>がん検診率アップの方策について</p>	<p>福島健康横綱応援プロジェクトにおいて、がん検診の目標が胃がん 7.5%、肺がん 16.0%、大腸がん 6.5%、子宮がん 3.5%、乳がん 6.0%です。北海道の目標は 50%以上となっています。福島町の受診率の現状はどうか。</p> <p>医療経済の観点から日本全体のがんの社会的損失は 10 兆円です。病気になれば、収入が途絶え、高額医療費制度があっても薬代など月額数万円かかります。それに比べ、1つの方法として、検診料ゼロはいかがでしょうか。</p> <p>検診の受診率アップによりがんを早期発見することで死亡する確率は少なくなります。そうすることにより、社会保障費の軽減にもつながりますし、病気の人や家族の人生にとって、何事にも変えがたいことだと思います。</p> <p>今後がん患者を減らすためにも検診率向上の方策をお伺いいたします</p>	<p>町長</p>